

令和3年度アクション・プラン【中播磨県民センター】

I 目指す姿

R2年度からの変更・追加について赤字記載

中播磨地域の緑豊かな自然、播磨灘の豊富な海の幸や世界文化遺産・姫路城など恵まれた地域資源を活用し、4つの目標を定め、県民、市町、企業、団体等と連携しながら日本遺産「銀の馬車道 鉱石の道」を核として、「人と地域がつながる“元気”な中播磨の創生」を目指す。

【目標】

数値欄の上段(網掛)は目標値、下段は実績値

KPI	目標設定の時点	R2	R3	R4	R5	R6
観光入込者数		10,327千人	10,327千人	10,327千人	10,327千人	10,327千人
	10,327千人(H30)	10,366千人(R1)				コロナ禍以前の数(H30)並
観光宿泊者数		1,458千人	1,458千人	1,458千人	1,458千人	1,458千人
	1,458千人(H30)	981千人(R1)				コロナ禍以前の数(H30)並
若者の転入超過数(20～39歳)		▲552人	▲529人	▲506人	▲483人	▲460人
	▲576人(H30)	▲726人(R1)				H30の80%
(うち女性の転入超過数)		▲186人	▲178人	▲170人	▲162人	▲155人
	▲194人(H30)	▲563人(R1)				H30の80%
新卒高校生の管内就職割合		56.0%	57.0%	58.0%	59.0%	60.0%(R5)
	54.0%(H29)	56.9%(R1)				前戦略の目標値
お住まいの市・町の企業に活気が感じられると思う人の割合		37.6%	38.2%	38.8%	39.4%	40.0%
	36.6%(H30)	30.6%				過去5年間の最高(H30)並
お住まいの市・町の駅前や商店街に活気が感じられると思う人の割合		33.4%	33.8%	34.2%	34.6%	35.0%
	33.3%(H30)	23.8%				過去5年間の最高(H30)並
地元や県内の農林水産業に活気が感じられると思う人の割合		23.2%	24.4%	25.6%	26.8%	28.0%
	22.7%(H30) 淡路28.2%(H30)	21.4%				H30地域別の最高(淡路)並
住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合		79.0%	80.5%	82.0%	83.5%	85.0%
	76.6%(H30) 神戸85.0%(H30)	73.6%				H30地域別の最高(神戸)並

地域の災害に対する備えは、以前より確かなものになってきていると思う人の割合		32.0%	38.0%	42.0%	46.0%	50.0%
	25.0%(H30) 但馬 50.0%(H30)	30.7%				H30 地域別の最高 (但馬) 並

II 取組の方向性

1 思わず訪れたくなる中はりま

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」の歴史的魅力を国内外に発信するとともに、東京オリンピック・仏パリオリンピック等国際イベントの開催を機に滞在型・周遊型観光を推進し交流人口を拡大する。

2 若者・女性が活躍できる中はりま

若者の地元就職や女性の活躍を促進するとともに、高校生・大学生等の意見を活かすなど、若者の県施策等への参画を推進する。

3 活気とにぎわいのある中はりま

姫路市文化コンベンションセンターの開館（令和3年度予定）や福崎駅前整備等を機に中播磨地域の賑わいづくりを一層推進するとともに、産学官連携による“ものづくり”企業の競争力向上、社会インフラの充実、農林水産業の活性化を図る。

4 暮らしやすさNo1の中はりま

県立はりま姫路総合医療センター（仮称）（令和4年開院予定）を中心とした質の高い効果的な医療の提供や災害に強い社会基盤を整備する等、安全安心のまちづくりや、ふるさと意識や地域への愛着の醸成を推進する。

III 具体的な取組（主なもの）

1 思わず訪れたくなる中はりま

（1）日本遺産「銀の馬車道 鉱石の道」推進プロジェクト

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」ゆかりのシスレーなどフランスとのストーリーを活かし、欧州からの交流人口増加を目指すとともに、周辺の魅力を含めた地域のブランド化に取り組む。

【主な事業】

- ① つなぐ銀の馬車道～轍プロジェクト～《拡充・8,800千円》
 - ・ 「ひょうごサイクリングモデルルート」の「銀の馬車道・鉱石の道周遊ルート」にてサイクリング事業の実施
 - ・ 東京オリンピック・パラリンピックに伴う発信
 - ・ 馬車道設計者が母国フランスに送ったノイバラの遺伝子を持つバラを選定
 - ・ 「はりま姫路の酒」を欧州に向けPR
 - ・ 史実を踏まえた映像化の検討
- ② 銀の馬車道ブランドの推進《拡充・4,500千円》
 - ・ 鉱石をイメージした白いカボチャを「銀馬車かぼちゃ」としてブランド化し、沿線地域内外にプロモーションを展開

③ 「銀の馬車道・鉱石の道」の見える化と魅力発信 《4,000 千円》

- ・ 馬車模型の制作等によりストーリーの見える化の強化
- ・ サイクルトレインや馬車の運行により、その魅力を発信

(2) 訪れて巡りたくなる中はりま

世界文化遺産・姫路城の知名度を活用し、中播磨の豊かな観光資源への周遊と体験ツーリズムの活性化を図る。

【主な事業】

① 思わず行きたくなる中はりま誘客促進 《拡充・3,836 千円》

- ・ 旅行事業者を中播磨に案内し、地域ならではの観光素材についてのプレゼンテーション、ヒアリング調査を実施
- ・ 地域内で宿泊を伴うツアーを実施した旅行事業者に対し補助

② 播但線沿線等の魅力アップ 《250 千円》

- ・ 播但連絡道路沿線市町に点在する観光施設を巡るスタンプラリーを実施
- ・ 地元版画家や沿線高校美術部と連携し、版画や絵画を駅舎・列車内に掲示
- ・ 銀の馬車道と連携したサイクルトレインを運行（再掲）

(3) 豊かな資源を活かした食の魅力発信

豊かな自然や食文化など様々な地域資源を活かし、地域特産物のブランド化、魅力と活力のある地域づくりに取り組み、国内外にその魅力を発信することにより交流人口の拡大を図る。

【主な事業】

① 食と農で結ぶ夢街道づくり 《拡充・3,000 千円》

- ・ 夢前テロワール（夢前町の土壌、気候、地形、水など）と地元農家で生産された農畜産物から生み出される郷土料理を味わうイベントを実施
- ・ 昨年度復活させた酒米「辨慶」で醸造した酒を活用し、「夢前テロワール」をPR
- ・ **観光農業や農業体験など農地等を活用した交流の促進**

② はりま姫路の前どれ海の幸グレードアップ作戦 《拡充・10,300 千円》

- ・ 水産物特産品の商品化、販売促進や魚食普及活動等を支援
- ・ “播磨のかき、あさり” 生産・需要拡大支援のため、高品質化や、**かごにて1粒ずつ生産するシングルシードマガキの新技术開発、PR活動等を支援**
- ・ 前どれ海の幸の知名度向上、販路拡大、プロモーションを支援
- ・ イベントや漁業見学ツアー等を開催

③ 中はりま食文化の発信 《1,500 千円》

- ・ 「はりま姫路の酒」を欧州に向けPR
- ・ 「姫路食博」の開催を支援

④ 水産資源を守り育てる増殖場の整備 《-》

2 若者・女性が活躍できる中はりま

(1) 若者・女性の就業・地域活動支援

中播磨地域では、20歳代は転出超過となるものの、30歳代では転入超過となる傾向がみられることから、進学・就職を機に域外へ転出した若者・女性をメインターゲットに、産官学が連携し、就業支援や地域活動の支援を行う。

【主な事業】

- ① 中はりまの企業PR大作戦（U J I ターン対策）《拡充・7,350 千円》
 - ・ 播磨地域就職支援サイト「JOB播磨」において、地元企業の魅力を発信
 - ・ 県内外の理系大学を対象とした中播磨の企業見学バスツアーを実施
 - ・ 県内外の大学において中播磨企業をPRするセミナーを開催
 - ・ 県外から姫路市へのU J I ターン就職者を雇用した中小企業への支援
 - ・ 企業の多様な採用活動の支援として、A I 面接を導入する企業への支援
- ② 産学官連携による「中はりま産業力」強化《1,200 千円》
 - ・ 「企業・大学・学生マッチング in H I M E J I 2021」を開催
 - ・ 企業向け大学研究室見学ツアー（オープンラボ）を実施
 - ・ 中小企業若手技術者等を対象とした「ものづくり力向上セミナー」を開催
- ③ 中はりま木造インターンシップによる技術伝承支援事業《ー》
- ④ 女性の活躍促進《650 千円》
 - ・ 女性の雇用に積極的な企業などの事例を学ぶセミナーを開催
- ⑤ 生活創造活動支援《1,284 千円》
 - ・ 生活創造関連情報を発信
 - ・ 生活創造活動グループの相互交流を推進
 - ・ 「中播磨地域活動交流メッセ」を開催
- ⑥ 中はりま農的くらし定着支援《新規・2,400 千円》
 - ・ C S A（地域支援型農業）や農泊の取り組みをモデル的に支援

(2) 高校生・大学生等の参画

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」沿線の高校生による地域を巻き込んだ新たなプロジェクトの提案など、高校生・大学生等の県施策等への参画を促進する。

【主な事業】

- ① 日本遺産高校生フォーラム《500 千円》
 - ・ 沿線地域の高校生による地域魅力づくりワークショップとフォーラムを開催
- ② 地域政策を検討する会議等への高校生・大学生等の参画《ー》
- ③ 小学生への社会基盤整備PR事業《1,000 千円》
 - ・ 小学生を対象に防災スクール、絵画コンクール、現場見学バスツアーを実施

3 活気とにぎわいのある中はりま

(1) 姫路駅周辺の“顔づくり”の推進

姫路市文化コンベンションセンターが令和3年秋の供用、県立はりま姫路総合医療センター（仮称）が令和4年度の開院を目指して整備が進められていることから、引き続き「姫路市都心部まちづくり構想（H18.3策定）」の推進に協力し、播磨地域の中心である姫路駅周辺整備を図るとともに、駅周辺の施設整備に合わせた道路等の整備を推進する。

【主な事業】

- ① 駅周辺の整備推進《一》
- ② 駅周辺道路等の整備推進《一》

(2) 姫路港の賑わいづくりと利活用

クルーズ客船の安全・安心な受け入れに取り組むとともに、姫路港発着の周遊クルーズにより賑わいを創出する。また、旅客ターミナルエリアのリニューアル等の推進により、県民の交流や賑わい空間を創出することで地域の活性化を図る。

【主な事業】

- ① 観光クルーズ客船の誘致強化《2,000千円》
 - ・ 国内外のクルーズ船社等関係者へのポートセールス活動
 - ・ クルーズセミナーの開催
 - ・ クルーズ・サポーターの募集
- ② 背後圏企業へのポートセールス活動の展開《一》
 - ・ 姫路港背後圏の荷主企業等に対するポートセールス活動を実施
- ② 姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル《一》
- ③ 姫路港・海の魅力発信《11,800千円》
 - ・ 姫路港ふれあいフェスティバルの開催
 - ・ 姫路港周遊クルーズの実施

(3) 中播磨地域の元気、活力を支える道路網の整備

中播磨地域の元気、活力を支えるため、高速道路から生活道路にいたる道路網について、利活用の増進や中心市街地の形成などに重点を置きつつ、選択と集中により、効率的・効果的な整備を進める。

【主な事業】

- ① 播磨臨海地域道路《一》
- ② 播磨の中心市街地（姫路市）の骨格道路網形成《一》

(4) はりまのものづくりを強化するための支援

中播磨地域に集積する産学官に係る資源の効果的な連携を図り、大学、企業との技術交流の促進により、地域のものづくり力の一層の強化を図る。また、ものづくりを支える人材を確保するため、企業の情報を広く発信するとともに、企業と学生のマッチングを図る機会を充実させる。

【主な事業】

- ① ポストコロナ時代の「ものづくり」企業シンポジウム《新規・1,000千円》
 - ・ I o Tの活用など国内外の事例を学ぶシンポジウムを開催
- ② ものづくりを支える人材確保支援《616千円》
 - ・ 高等学校進路指導担当者と企業との交流会を開催
 - ・ 高校生を対象とした企業紹介セミナーを開催
- ③ 中はりまの企業PR大作戦（U J I ターン対策）（再掲）
- ④ 産学官連携による「中はりま産業力」強化（再掲）

(5) 農林水産業の生産振興

過疎・高齢化や耕作放棄地の拡大が懸念される中播磨北部地域における新規就農者サポート、収入安定化のための事業を展開するとともに、農地の面的集積とほ場の大区画化を一体的に進めるほ場整備を推進し、農業水利施設の機能が適正かつ持続的に発揮されるよう点検整備や補修に取り組むほか、防災対策として老朽化したため池等を改修する。

【主な事業】

- ① 中はりま農業パワーアップ作戦《拡充・4,050千円》
 - ・ 「中播磨就農希望者セミナー・相談会」を開催
 - ・ 新規就農者の早期経営安定のための機械導入を支援
 - ・ 中播磨地域に適合した、I C T等を活用したスマート農業技術導入の支援
 - ・ 新品種のもち麦を活用した新たな需要開拓
 - ・ 「メイドイン中播磨」商品の開発、販売、試食会等を開催
- ② 人とシカが共生できる地域創出事業《1,700千円》
 - ・ 被害対策の担い手確保・人材育成
 - ・ シカ肉加工製品の普及啓発
- ③ 農業生産基盤の整備《ー》
 - ・ ほ場の大区画化や各ほ場への配水路を配水パイプに置換することによる生産性向上を推進
 - ・ ため池等農業水利施設や農地の防災・減災対策を推進
- ④ 持続可能な森林経営に向けた森づくり《ー》
 - ・ 林内路網の整備や高性能林業機械の導入など林業生産基盤の整備を推進
 - ・ 新ひょうごの森づくりによる人工林の間伐及び作業道開設等を支援

4 暮らしやすさNo.1の中はりま

(1) ふるさと意識、地域への愛着の醸成

地域文化や郷土史等を次代に伝える事業を実施・支援するなど、子どもや若者のふるさと意識や地域への愛着の醸成に取り組むとともに、独身男女の出会いを支援する。

【主な事業】

- ① 中播磨地域ビジョンの推進 《3,841千円》
 - ・ ビジョン委員会の実践活動の支援
 - ・ 中播磨地域夢会議（未来フォーラム）の開催
 - ・ 2050年を展望する「新地域ビジョン」（2022年3月策定予定）を検討
- ② 中播磨地域づくり活動応援事業 《9,020千円》
 - ・ 地域団体等が実施する地域の課題解決につながる取組や団体自らの活性化のために行う取組（県民提案型協働事業）を支援
- ③ 伝統文化を通じた青少年の文化力アップ 《5,500千円》
 - ・ 青少年を対象に日本の伝統文化の継承・発展・普及に寄与する事業を展開
- ④ 環境学習の推進 《拡大・455千円》
 - ・ 青少年向けの体験型学習事業等を実施
- ⑤ 青少年の健全育成活動の推進 《185千円》
 - ・ こころ豊かな人づくり500人委員育成事業
 - ・ 中播磨青少年本部自主事業の展開
 - ・ 列車内や駅周辺を中心とした指導等
- ⑥ 中はりま縁結び交流会「縁結び交流会in夢前」 《512千円》

(2) まちの安全・安心の推進

自然災害から安全・安心を確保するため、治水・高潮・土砂対策等にかかる基盤整備を推進するとともに、地域防災力の向上を図る。

【主な事業】

- ① 災害に強い社会基盤整備の推進 《－》
 - ・ 治水対策の推進
 - ・ 地震対策の推進
 - ・ 高潮対策の推進
 - ・ 土砂災害対策の推進
- ② 中はりま地域防災力の充実・強化 《138千円》
 - ・ 「中播磨地域防災講習会」及びひょうご防災リーダーフォローアップ研修を開催
- ③ ため池保全の推進 《1,240千円》
 - ・ 子供たちにため池の役割や危険周知などを学習させる「ため池教室」を開催

(3) 暮らしの安全・安心の推進

災害時の医療情報や消費生活など幼児・高齢者等も含めた、暮らすひとの安全・安心を確保する地域づくりを目指す。

【主な事業】

- ① 小児救急医療・適切な受診行動の促進 《599 千円》
 - ・ 啓発媒体を作成・配布
- ② 地域包括ケアシステムの推進支援 《100 千円》
 - ・ 圏域の地域包括ケア推進会議の開催
- ③ 地域を支える看護人材の確保 《—》
- ④ 授産品の販路拡大支援 《1,100 千円》
 - ・ 「中播磨“はばたけ授産品コンクール 2021”」の開催
- ⑤ 高齢者の低栄養・フレイル対策事業 《397 千円》
 - ・ 医療・施設・在宅での一貫した栄養指導が行える連携ツールの作成
- ⑥ 災害時における医療提供に関する情報伝達訓練・研修事業 《300 千円》
 - ・ 災害医療の基礎及び災害発生時の医療機関の患者受け入れ等に関する情報伝達方法に係る訓練及び研修を実施
- ⑦ 安全安心な消費生活の推進 《1,163 千円》
 - ・ 消費生活に関する知識を持ち、適切な行動がとれる実践的な能力を身につけるための消費者学習を推進
 - ・ 若年層への消費者教育を強化
- ⑧ 地域ぐるみの安全対策事業 《400 千円》
 - ・ 犯罪の未然防止機能の向上を図るため、地域安全まちづくり推進員の委嘱を行うとともに、研修会を開催
 - ・ 「ストップ・ザ・交通事故」県民運動中播磨推進協議会（県民局、市町、警察署、交通安全協会等で構成）を設置し、啓発活動を展開
- ⑨ 野生動物の被害対策の推進 《—》
 - ・ シカ、イノシシ対策
 - ・ サル対策
 - ・ 特定外来生物 [アライグマ・ヌートリア] 対策、野生動物共生林の整備